

アジア大気環境改善に関する 環境省と国連環境計画（UNEP）の協力について

1. 背景と目的

アジア地域では、東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）、アジア地域の褐色雲（ABC）プロジェクト等といった、各国が協働し明確なテーマを掲げて大気汚染対策を推進する取組が進められてきた。

日本国環境省と UNEP は協力して、これらのさまざまな地域的取組が参加する大気汚染対策に関する合同フォーラムを設けるとともに、アジア地域の大気汚染に関する科学的な知見の集積を図り、本フォーラムにおいて科学的知見や政策の経験を共有し、地域全体として大気汚染問題に取り組む結束力を高め、効果的な対策の実施を促進する。

2. 具体的な取組

（1）アジア地域の大気汚染に関する科学的な評価

著名な科学者で構成される科学パネルを設立する。本科学パネルは、アジア地域の大気汚染に関する科学的知見の充実・評価や、各国の大気環境管理や関連の施策についての情報の収集・分析を行う。また、これらの評価や分析の結果について、以下の合同フォーラムに参加する政策決定者等と共有し議論を行って、科学的知見と政策の進展に関する総合的な報告書として定期的にとりまとめを行う。さらに、合同フォーラムの要請に応じて、特定の科学や政策の課題に関する報告書を作成する。

（2）アジア地域の大気環境に関する合同フォーラム

大気汚染問題に対する様々な地域的取組の連携を促進するため合同フォーラムを設立する。本フォーラムでは、科学パネルからの支援も得つつ、国、地域および国際的な取り組みの現状や、政策的に重要な最新の科学的知見を共有するとともに、大気汚染問題の中で優先的に取り組むべき課題を特定し、当該課題に応じた地域的な活動や既存の地域的取組の新たな連携を推進する。